

公表:2022年 8月 20日 職員8名

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスあすな

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			児童の来所時間が異なってもロールカーテンで区切ることでスペースを確保し落ち着いて参加できる工夫をしている。	仕切りで区切るなどしてスペースを確保していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	8			1日の流れを細かく打合せし配置している。送迎スタッフも配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		階段やトイレなどに手すりや安全柵など設置してバリアフリー化している。	安全面においても十分配慮している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			ミーティングを毎日行い月に1度全体会議を設けている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者に療育内容のアンケートを取ってよりよく改善している	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		1	ホームページ、ブログを定期的に更新している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7		1	研修などを通して改善している。行政書士の顧問をつけている。	
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			与えられた研修だけでなく、職員の希望する色々な研修に全職員が参加している。		
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者のニーズにも十分配慮して作成している。アセスメントに十分に時間を掛け、全職員で情報共有し計画を作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			独自のアセスメントシートを使いガイドラインに沿って行っている。今後も面談の時間を取り説明していきます。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			全職員で立案し、月単位でプログラムを計画し、毎日のミーティングでも意見交換している。職員のアイデア企画を十分に生かしている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			研修内容を参考にしたり、児童の状況に合わせて行っている。日々、振り返りを行い改善している。児童の状況や保護者のニーズを反映している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			必ず二か月前からプログラムを計画し、近づくにつれ、きめ細かい内容を決めている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			必要に応じて個別対応を行っている。個別の時間をどのように設けるか、ミーティングで計画作成している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			毎日細やかに支援内容の打ち合わせをしている。全職員に翌朝までに共有を行っている。	

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			毎日、振り返りや気付いたことについてしっかりと共有している。出勤していない職員にも周知できるようにしている。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			毎日の記録を行い、着実に次からの支援に生かしている。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			スパンを決めて確実に計画の見直しを行い適切に進めている。	
関係機関や保護者との連携	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			ガイドラインに沿って行っている。	
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			職員全体で共有しながら参加している。	
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			予定の確認を複数で行ったり、学校での送迎時担任の先生から様子を聞き、適切に連携をしている。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	1		通所児童がいない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	1	保護者の意向に沿って行っている。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1			卒業した児童がまだいないが、進学や就労支援事業所の見学を保護者とし、ニーズに沿う努力をしている。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	1	個人差があるが、必要に応じてオンラインで研修を受けるなど相談所と連携を取っている。	
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	5		事業所内の療育を充実させるためにプログラムを組んでいるため、今は考えていない。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4		機会とタイミングがあれば考えてみたい。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			毎月家庭連携などを行い努力している。保護者との連携を大切にしながら日々の活動の様子をお知らせするように努めている。	
保	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	2		ペアレントは行っていないが、共通支援が行える様に、協力を求める事もあるが、専門的なペアレント・トレーニングは実地していない。
	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			面談時間を多くとり説明している。	
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			毎月家庭連携を積極的に行い、必要な助言・支援を行っている。	
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	4		「親の集い」を月に一度設けているが、コロナの影響で中止している。アンケート調査をふまえて開催時期を検討している。

護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			職員全体で共有し迅速に対応できるよう努力している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			お便り発行やブログを定期的に更新している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報は事業所内で保管、十分注意し管理している。	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			1人1人の特性を理解し配慮している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	2		コロナで行えていないが今後検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			年間予定に組み込みマニュアル参照・周知している。必要な訓練は実施している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年に2回予定を決めて行っている。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			必要に応じて研修し対応している。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	2		身体拘束をしなければならない児童は通所していない。事業所の意向をつたえ理解してもらっているが、該当する児童がいないため支援計画の記載はしていない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		保護者から詳しく話を聞き対応している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			毎月ミーティングで全体周知し再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。